

市長 近年の廃棄物の増加と質の多様化が進む中、主にプラスチック類・ガラス・陶器類・ゴム類の不燃ごみは、埋め立て処分をしています。平成16年度は5千131トン、平成17年度は5千922トンを埋め立て処分し、前年度と比較して若干の減となっています。しかし、5年前の平成13年度と比較すると、約15%増となっています。現在の一般廃棄物処理基本計画の見直しを近々行い、現在の分別対象品目に白色トレイなど、プラスチック製容器包装を加え、再資源化を推進するとともに、最終処分量の減量のための計画とします。このことにより、循環型の廃棄物処理が具現化されます。また、最終処分場の残容量の測量を行う予定です。

問 マイバツク推進で、レジ袋の削減が不燃ゴミ排出抑制にもつながると考えますが、その推進は如何か。

市長 市内の事業所等におきまして、レジ袋不要の場合、スタンブカードなどを発行し、独自のサービスを行うなど、各事業所独自の取り組みが見られるよ

幼保一元化

問 保育園の利用状況、又、待機児の状況は如何か。

市長 平成18年4月1日現在、学齢前児童数3千858名のうち760名が保育園に入所しました。待機児童は59名で3歳児未満が51名、3歳児が7名、4歳児が1名で、3歳未満児が待機児童全体の約86・4%を占めている状況です。

問 市立幼稚園の利用状況は如何か。

教育長 市内3園の利用状況は、次のとおりになっております。

八街第一幼稚園、定員280名、在籍191名、川上幼稚園、定員140名、在籍116名、朝陽幼稚園、定員140名、在籍133名です。

問 子育て支援の大事な施策



策と考える幼保一元化への取り組みは如何か。

市長 本年10月1日に「就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律」が行われることになっており、本市も、幼保一元化について、公設民営化等の問題を含め、総合的に検討したいと考えています。

信号機設置

問 八街市全域にわたる、信号機設置の状況について伺う。

現在の設置状況。今後の改善状況。今後の改善状況。

市長 現在、八街市の信号機の設置状況は、市街地をはじめとして、市内を走る国道や県道などの交通量の多い交差点や丁字路、横断歩道など、54カ所に信号機が設置されています。今後、交通量の多い交差点や丁字路、横断歩道などに信号機を設置していただき、自動車や歩行者の安全な往来が図られるよう、警察に要望したいと考えています。

八街市郷土史料館

問 八街の文化・歴史の資料館として、内容は充実しているか。その保存、継承の為に建物の建て替え、移転の考えは如何か。



▶八街市郷土史料館

教育長 平成13年からは企画展を実施し、その調査・研究で得られた成果を常設展示に活かし、徐々にですが、内容の充実を図っています。なお、施設が老朽化しているため、建て替えや移転については、今後十分検討したいと考えています。

関連質問 京増 良男

問 信号機の改善状況について、朝陽小学校の信号機及び付近の改善について伺う。

総務部長 朝陽小学校の脇は、より安全な交差点実現の観点から形式変更や道路規制を含め、今協議しています。

問 改善策は佐倉警察署か公安当局か千葉県警のどちらと協議しているのか伺う。

総務部長 担当者が佐倉警察署と協議している段階です。

問 コナカ付近の交差点は、車両の出入りが困難になっているが改善状況を伺う。

総務部長 五差路の形式をとっており、いろいろ検討したが、現在は難しい状況となっています。

個人質問 新宅 雅子

高齢者介護

問 本年4月からの新制度により、市民負担とサービスは、どのように変わるのか伺う。

市長 介護保険の基本理念である自立支援をより徹底する観点から新予防給付が創設され、また要支援・要介護になる前からの介護予防を推進するとともに、地域における包括的・継続的なマネジメントを強化する観点から地域支援事業が創設され、本年度から実施されているところです。

しかし、平成18年度から20年度までの第3期の65歳以上の第1号被保険者の介護保険料については、介護を必要とする高齢者の数や各種サービスの事業量などの増加が見込まれ、これらに基づいた介護保険給付費から保険料を算定したところ、第2期の保険料基準月額2千830円を、第3期では3千707円、約31%の引き上げとなりました。

問 地域包括支援センターの事業の状況は如何か。

市長 現時点での業務の中心は、要支援1・2と認定された方の介護予防サービ